

## 1. 次の文章の空欄にあてはまる語を各語群より選びなさい。

古市街道を歩いて宇治に近づくと急な(1)と呼ばれる坂があり、降りきったところに(2)と呼ばれる宇治の町に入る門があった。左折するとすぐ見える神社は、(3)の神といわれる猿田彦神社である。浦田町の交差点付近にあった御師(4)大夫邸の門が、現在祭主職舎の門となっている。浦田町のバス停のあるところが、(5)神主邸で、ここに植えられている松が、(6)と呼ばれているものである。(1)を改修したことで功績の高い(7)が、神宮神主としてはじめて高い位をもらったことに由来する松である。内宮への旧参宮街道を進むと宇治で比較的好く残っている御師の家がある。街道の右手の高台に見える墓地には、宇治橋や内宮の式年遷宮を復興した(8)などの五輪塔がある。墓地の御幸道路を挟んだ西側には、中世に神宮の祭祀や神事をまとめた(9)や俳諧の祖といわれる(10)の墓がある。小さな川(11)を越えると右手に現在祭主職舎として利用される江戸時代初期の建築で国の重要文化財となっているもと尼寺の(12)がある。客殿には、(13)筆の廿四孝の極彩色の絵があったといわれる。裏庭は、庭園造りで著名な(14)の作といわれる。また、土堀には、勅願寺であることを示す(15)本の白線が入っている。赤福本店の横にかかる(16)と呼ばれる橋は、内宮宮域内の現神楽殿付近に居住していた人々の家を、大火をきっかけに移転させてできた館町にいたるために架けられたものである。そこより少し内宮側へいくと右手にはいる道沿いに、鎌倉時代、元の襲来を防ぐため、天照大御神に大般若経を転読奉納した(17)のあったことを示す石碑が建っている。(17)の裏側(西側)には、宇治の自治組織であった(18)の建物があったところで、現在駐車場脇にそのことを示す石碑が建っている。かつて、宇治には(19)ヶ寺があったが、明治以降、寺は存在しない。宇治橋前駐車場の西側高台には、江戸時代に宇治の人々が建てた学校兼図書館である(20)が昔のまま存在する。

- |               |           |           |           |
|---------------|-----------|-----------|-----------|
| (1) (イ) 牛鬼坂   | (ロ) 馬追坂   | (ハ) 牛山坂   | (ニ) 牛谷坂   |
| (2) (イ) 赤門    | (ロ) 白門    | (ハ) 黄門    | (ニ) 黒門    |
| (3) (イ) 縁結び   | (ロ) 道開き   | (ハ) 地震    | (ニ) 福寿    |
| (4) (イ) 車館    | (ロ) 山本    | (ハ) 次郎館   | (ニ) 太郎館   |
| (5) (イ) 出口    | (ロ) 佐八    | (ハ) 藤波    | (ニ) 度会    |
| (6) (イ) 三位の松  | (ロ) 根起松   | (ハ) 一位の松  | (ニ) 二位の松  |
| (7) (イ) 荒木田氏家 | (ロ) 荒木田氏富 | (ハ) 荒木田氏経 | (ニ) 荒木田氏良 |
| (8) (イ) 周養    | (ロ) 聖純    | (ハ) 清順    | (ニ) 清鳳    |
| (9) (イ) 荒木田氏経 | (ロ) 荒木田氏常 | (ハ) 荒木田氏康 | (ニ) 荒木田氏益 |

- (10) (イ) 菌田守剛 (ロ) 菌田盛武 (ハ) 菌田守武 (ニ) 菌田守利
- (11) (イ) 姫小川 (ロ) 清子川 (ハ) 聖川 (ニ) 汁谷川
- (12) (イ) 慶晃院 (ロ) 恵光院 (ハ) 慶光院 (ニ) 啓光院
- (13) (イ) 磯部百鱗 (ロ) 狩野探幽 (ハ) 狩野永徳 (ニ) 月僊
- (14) (イ) 小堀円周 (ロ) 木堀遠州 (ハ) 古堀円州 (ニ) 小堀遠州
- (15) (イ) 五 (ロ) 四 (ハ) 三 (ニ) 二
- (16) (イ) 古橋 (ロ) 館橋 (ハ) 鈴橋 (ニ) 新橋
- (17) (イ) 神楽社 (ロ) 法楽社 (ハ) 法楽舎 (ニ) 経楽舎
- (18) (イ) 三方会合所 (ロ) 宇治集会所 (ハ) 内会合所 (ニ) 宇治会合所
- (19) (イ) 20 (ロ) 30 (ハ) 43 (ニ) 52
- (20) (イ) 豊宮崎文庫 (ロ) 宇治文庫 (ハ) 林崎文庫 (ニ) 神宮文庫

2. 次の設問を読んで、それぞれ正しいものを選んで、記号で答えなさい。

- (21) 大間国生神社の後ろにある高まりは誰が築いた堤防といわれていますか。  
 (イ) 平重盛 (ロ) 平敦盛 (ハ) 平重平 (ニ) 平清盛
- (22) 平安時代の隠岡遺跡には何があったと考えられていますか。  
 (イ) 度会氏の居宅 (ロ) 荒木田氏の居宅  
 (ハ) 大中臣氏の居宅 (ニ) 隠岡氏の居宅
- (23) 平安時代に内宮と外宮の神主が争ったことを示す史料は何ですか。  
 (イ) 天字沙汰文 (ロ) 神宮沙汰文 (ハ) 皇字沙汰文 (ニ) 神字沙汰文
- (24) 離宮院は誰の離宮ですか。  
 (イ) 天皇 (ロ) 皇太子 (ハ) 皇后 (ニ) 斎王
- (25) 足利義満は伊勢へ何度参宮しましたか。  
 (イ) 1度 (ロ) 3度 (ハ) 11度 (ニ) 20度
- (26) 旧慶光院の建物の門は、御師何大夫の門が移築されていますか。  
 (イ) 太郎館大夫 (ロ) 車館大夫 (ハ) 泉館大夫 (ニ) 椿館大夫

- (27) 現在、神宮文庫の門となっている御師の門は、何家の門ですか。  
(イ) 葉山大夫 (ロ) 橋村大夫 (ハ) 福井大夫 (ニ) 福島御塩焼大夫
- (28) 西行が、二見で隠棲していたところとされているのは、何処ですか。  
(イ) 安養寺 (ロ) 太江寺 (ハ) 天覚寺 (ニ) 明星寺
- (29) 牛車楼と呼ばれた遊郭は、何処ですか。  
(イ) 油屋 (ロ) 大安 (ハ) 越後屋 (ニ) 備前屋
- (30) 東郷平八郎や伊藤博文などが宿泊した岡本町にあった集会所兼賓客用ホテルは、何と呼ばれていましたか。  
(イ) 十文字屋 (ロ) 賓日館 (ハ) 五二会館 (ニ) 神宮会館
- (31) 円空仏四体がある寺はどこですか。  
(イ) 寂照寺 (ロ) 等観寺 (ハ) 金剛証寺 (ニ) 中山寺
- (32) 家業を止め、牛谷坂の改修で、大金を出した人は誰ですか。  
(イ) 油屋お紺 (ロ) 御巫清直 (ハ) 大主耕雨 (ニ) 千束屋りと
- (33) 浦之橋商店街の辺りに住んでいた江戸時代の著名な学者は誰ですか。  
(イ) 荒木田久老 (ロ) 度会家行 (ハ) 荒木田守武 (ニ) 荒木田麗
- (34) 吉田松陰が伊勢参宮をしたおり訪れた人は誰ですか。  
(イ) 度会延佳 (ロ) 足代弘訓 (ハ) 御巫清直 (ニ) 岩田涼菟
- (35) 伊藤小坡の作品を集めた美術館は、どこにありますか。  
(イ) 岩渕 (ロ) 岡本 (ハ) 古市 (ニ) 宇治浦田
- (36) 参宮鉄道宮川－旧山田間（現伊勢市）が開通したのはいつですか。  
(イ) 明治30年 (ロ) 明治40年 (ハ) 大正5年 (ニ) 昭和2年
- (37) 筋向橋の下を流れる川は、何という川ですか。  
(イ) 豊川 (ロ) 清川 (ハ) 小川 (ニ) 甫蔵主川
- (38) 二見賓日館を建てた団体はどこですか。  
(イ) 五二会 (ロ) 神宮崇敬会 (ハ) 神苑会 (ニ) 宇治山田商工会
- (39) 御師の邸宅で、現在も本宅の大半がそのまま残っているのは、何箇所ですか。  
(イ) 1 (ロ) 2 (ハ) 5 (ニ) 10



4. 次の文章のうち、それぞれ1つずつ間違いがあります。それを選んで、記号で答えなさい。

- (52) (イ) 御師は、神宮の神主でないとなれなかった。  
(ロ) 河崎には、町を取り囲む堀が巡っている。  
(ハ) 宮川の渡しの船賃は、無料であった。  
(ニ) 伊勢市役所の敷地は、もと御師三日市家の敷地であった。
- (53) (イ) 御幸道路の明治期の植樹は楓・桜・楠である。  
(ロ) 伊勢の御師が廃止されたのは明治元年7月である。  
(ハ) 御師邸の神楽殿は宇治の方が少なかった。  
(ニ) 小田橋は二重の橋であった。
- (54) (イ) 江戸時代の神宮御師の檀家は、北は北海道から南は薩摩まで及んでいた。  
(ロ) 二軒茶屋で、明治天皇が船から上陸されたことがある。  
(ハ) 宇治山田市は昭和36年に伊勢市となった。  
(ニ) 戦前の神宮皇學館大学には法隆寺の夢殿を模した講堂があった。
- (55) (イ) 古市に象が来たことがあった。  
(ロ) 三大遊郭は、油屋・備前屋・千束屋といわれた。  
(ハ) 芝居小屋は、歌舞伎役者の登竜門といわれた。  
(ニ) 遊女は、茶汲み女といわれた。
- (56) (イ) 伊勢市内で銅鐸が出土している。  
(ロ) エリザベス女王は神宮に来られた。  
(ハ) 二軒茶屋の地名は、「角屋」と「津屋」の二軒があったことによる。  
(ニ) お蔭参りは抜け参りから始まった。

5. 次の文章中の（ ）内に当てはまる正しい答えを、下記語群より選び、記号で答えなさい。

(57) 江戸時代、山田の町には、三方会合という自治組織があり、それは（ ）町にあった。

(イ) 岩淵                      (ロ) 一之木                      (ハ) 曾祢                      (ニ) 常磐

(58) 神宮の御師で、仏教信仰を深めた龍尚舎は、（ ）国の大須宝生院で神宮に関する古文書を多く書写した。

(イ) 伊賀                      (ロ) 三河                      (ハ) 尾張                      (ニ) 紀伊

(59) 宇治橋を渡って、広がる苑地は神苑会が造成したもので、（ ）式庭園である。

(イ) イタリア                      (ロ) ドイツ                      (ハ) 日本                      (ニ) フランス

(60) 荒木田久老は、万葉集の注釈で著名な国学者で、（ ）に師事した。

(イ) 足代弘訓                      (ロ) 本居宣長                      (ハ) 賀茂真淵                      (ニ) 契沖